

中国四国交流プログラム 報告

中国サッカー協会審判委員会

フットサル・ビーチ部会 小林泉紀

大会名：JFA 第 31 回全日本フットサル選手権 中国地域大会

期日：2026 年 1 月 24 日（土）～25 日（日）

会場：県立みよし公園カルチャーセンター

JFA第31回全日本フットサル選手権 中国地域大会

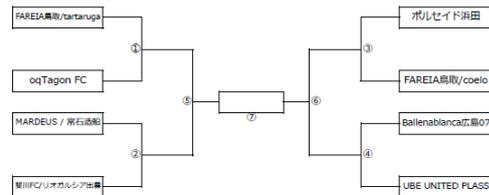
期日：2026年1月24日（土）～25日（日）

会場：県立みよし公園カルチャーセンター

【日程】

1月24日		20分-10分-20分（ブレイクタイム）				MCM時間
対戦						
①	1回戦	11:00	FAREIA鳥取/tartaruga 鳥取県第1	(PK)	oqTagon FC 岡山県	10:00
②	1回戦	12:45	MARDEUS / 常石造船 広島県第2	(PK)	斐川FC/リオガルシア出雲 島根県	11:45
③	1回戦	14:30	ボルセイド浜田 Fリーグ	(PK)	FAREIA鳥取/coelo 鳥取県第2	13:30
④	1回戦	16:15	Ballenablanca広島07 広島県第1	(PK)	UBE UNITED PLASS 山口県	15:15

1月25日		20分-10分-20分（ブレイクタイム）				MCM時間
対戦						
⑤	準決勝	10:00	①の勝者	(PK)	②の勝者	9:00
⑥	準決勝	11:45	③の勝者	(PK)	④の勝者	10:45
⑦	決勝	14:30	⑤の勝者	(PK)	⑥の勝者	13:30



参加審判員：柿本一真、和田亮嗣、有元善孝（以上広島県）、松本和馬（島根県）、大枝涼芽（岡山県）、大野晃史、柳林謙吾（以上山口県）、田中慎哉（鳥取県）、平島一起（徳島県）

インストラクター：山田悟、脇田栄太（以上広島県）、倉石一枝（岡山県）、古田武志（徳島県）、小林泉紀（鳥取県）

JFA 視察：芝村洋一氏

今回も上記大会を活用して中国四国交流プログラムを実施しました。

今回は芝村氏をはじめ古田氏、山田氏と現役の1級インストラクターが3名お越しくくださったことで非常に質の高いご指導をいただくことができました。

大会は準決勝を勝ち上がった2チームが全国大会に出場するレギュレーションの中で「チャレンジ」を共通テーマにレフェリングに取り組んでいただきました。初日から動きやポジショニング、シグナルなどは全体的に明瞭で分かりやすく、年間を通して取り組んできたことが発揮できている印象でした。一方でマネジメントの部分ではファウルかノーファウルかの判定は概ねできているがその反則は何が起因して起きているのか、チームはファウルと思っているが審判チームがノーファウルとしたものの認識の乖離を埋めるコミュニケーション、ターニングポイントを感じる力などが不足しており unnecessary プレーの温度感の上昇に繋がってしまった。

2日目は初日の反省を踏まえながら代表決定戦という非常に厳しいゲームを担当しなければならない中、各審判員が目的意識を持って素晴らしいレフェリングを披露した。チームも審判チームの判定を理解し、ゲームに集中してタフでスピーディーな魅力あるフットサルを展開してくださった。

交流プログラムとして初めての他地域の審判員とチームを組む難しさや打合せ、試合までのコミュニケーションの重要性を再度理解し、全員が目指している1級審査へ向けて切磋琢磨した。またこの大会は成功に終わったと感じているがこのパフォーマンスを年間通して発揮できていたかといえばそうではない場面も多く散見されたのでシーズン開幕からハイパフォーマンスを発揮できるよう次年度に向けて準備していきたい。

